平成 24 年５月 15 日

各　　位

会 社 名　国際計測器株式会社
代表者名　代表取締役社長　松本　繁
（ＪＡＳＤＡＱ・コード　7722）
問合せ先　取締役総務部長　松本　博司
電話番号　042－371－4211

業績予想と実績との差異、個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

平成 23 年５月 13 日に公表いたしました平成 24 年３月期の連結業績予想値及び前期個別実績と平成 24 年３月期の連結及び個別業績に差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．平成 24 年３月期の連結業績予想値と実績値との差異
（平成 23 年４月１日～平成 24 年３月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	11,000	2,000	1,950	1,170	83.48
今回実績（B）	10,873	1,146	1,173	556	39.72
増減額（B）－（A）	△127	△854	△777	△614	
増減率（%）	△1.2	△42.7	△39.8	△52.5	
（ご参考）前期実績（平成 23 年３月期）	10,758	1,843	1,616	1,012	72.28

２．平成24年３月期の個別業績と前期実績値との差異

（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前期実績（A）	百万円 8,714	百万円 1,332	百万円 1,319	百万円 837	円銭 59.76
今回実績（B）	7,991	524	632	286	20.46
増減額（B）－（A）	△723	△808	△687	△551	
増減率（％）	△8.3	△60.7	△52.1	△65.8	

３．差異の理由

(1) 連結業績予想と実績との差異について

売上高につきましては、期首繰越受注残高及び上半期の堅調な受注状況から110億円を予想しておりましたが、予想策定時の想定に比べ円高へ進行したことなどから、当初の業績予想を下回る結果となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、販売費及び一般管理費は経費削減効果もあり当初の業績予想内で推移したものの、上記の理由により海外物件の利益率が低下したことや、当期において既存製品及び新規開発製品のうち原価率の高い案件が集中したことにより売上総利益を押し下げたことなどから、当初の業績予想を大幅に下回る結果となりました。

当期純利益につきましては、上記の理由による影響のほか、今後の電気サーボモータ式振動試験機事業の拡大を視野に入れ、本社第三工場の建て替えを計画しており、このため既存建物の減損損失を計上することとなり、当初の業績予想を大幅に下回る結果となりました。

(2) 前期個別業績と実績との差異について

売上高につきましては、前期において地震計の更新需要があったものの、更新が一巡したことや、海外物件について円高ドル安で推移したことにより売上高が減少致しました。

営業利益及び経常利益につきましては、販売費及び一般管理費は経費削減効果もあり前期より減少したものの、(1)において記載のとおり、海外物件の利益率が低下したことや、当期において既存製品及び新規開発製品のうち原価率の高い案件が集中したことにより売上総利益を押し下げ、営業利益及び経常利益がそれぞれ減少致しました。

当期純利益につきましては、(1)において記載のとおり、本社第三工場の建て替えを計画したことにより減損損失を計上したため、前年を大幅に下回る結果となりました。

業績に関する詳しい内容につきましては、本日同時に公表しております「平成24年３月期決算短信」をご参照願います。

なお、期末配当につきましては、業績が予想を下回る結果となりましたが、当初の予定通り１株当たり20円としており変更はございません。

以　上